

社会福祉法人コミュニティキャンパス 新理事長 就任！

～ 高岡 新理事長から皆様にご挨拶申し上げます～

「みんなが幸せに」

地域で仲間と共に、最後まで共に生きるローカルコミュニティを目指しています



新理事長
高岡 善弘

コミュニティキャンパスは25年前、創業者の秋田さんと前々理事長の小西さんによりマンションの小さな一室から「ノンセクト（政治性の無さ）、宗教性の無さ」「どなたも断らない・争わない」「仲間、スタッフとの相互扶助」「治療から治癒へ」をモットーに始めました。

コミュニティキャンパスそもその名前は前理事長・牧野篤子の発案です。地域にコミュニティ（共同体）のキャンパス（学びの場）を創るという意味では最高のネーミングだと思います。

当時コロニー解体の流れがありました。時代背景は日本社会が自立支援法を導入し人間の平等、ノーマライゼーションの概念を受け入れ、国連の「障がい者の権利条約の批准」と言う世界標準に追いつ

く必要があったのです。

オリンピックや万博の招致に必要なだったのも大きな理由だと思います。

コロニー解体の流れの中でコミキャンが地域の中で障がいや生きにくさを抱えている仲間との生活をどう支え寄り添っていくのが大きな課題となりました。

駆け込み寺の機能の「コスモ」を始めグループホーム24時間機能の「巡回」や働く場所としての「ポコポコ亭」、障害特性に応じた日中の各作業所、夜の居場所「ともに」、仲間の自治組織「希望の会」、あちらの世界でも集まれる場所としてのお墓、相互扶助のピアヘルパーグループ、生活を組み立てる相談支援、高齢者の介護支援、ヘルパーステーション、精神の方の居場所の地活、子供達のデイサービス、福祉と医療をつなぐ訪問看護ステーション、ウノでのコンサート活動 等々・・・ ありがたいことに、仲間が地域で胸を張って生きていける場所が少しずつですが揃ってきました。

当時福祉にはじかれていた 矯正施設（刑務所）や精神病院での長期入院、引きこもり、家族の崩壊、掘り起こし等々 試行錯誤の連続の25年でした。

我々職員や仲間は現在もどうしたものかと悩みながら走り回っています。

特にネットや出会い系での世界とのかかわり方などの課題、お金、お酒、薬物等の依存問題。入院等手術など医療の必要な時の支援体制問題とセカンドオピニオンの課題 等々。

ただ嬉しいことに、仲間の平均寿命が延び、生きる苦痛ではなく、経験を積み上げ生きてきて良かったと思える喜びを共有できる仲間やスタッフが増えていと思っています。

私には、個人の力は微力ですが仲間やスタッフの成長と経験の発酵により益々分厚く暖かなコミュニティを築き上げる夢があります。

これからも皆さんのお力添え助け合いで 50年、100年とコミュニティキャンパスが、そして世界が、平和で安寧であることを願ってやみません。



令和7年盛夏

社会福祉法人コミュニティキャンパス 理事長 高岡 善弘



第153号

大阪市東淀川区
上新庄2-1-40

TEL : 06-4862-6057

<http://www.communitycampus.jp/>

コミキャン編集委員会
発行者

社会福祉法人
コミュニティキャンパス

コミキャン新聞に掲載された情報(写真等)の著作権・肖像権は全て当該メンバーさんの保護者の方々と及び社会福祉法人コミュニティキャンパスに帰属し、無断でこれを複製、利用することを固く禁じます。



西河原・橋の内コミキャンの活動を紹介します



茨木支援学校で製菓販売

力をいれています。若い利用者さんが多い作業所ですので、大人気の活動になっています。▼5月には茨木支援学校教職員向けに橋の内の製菓販売に行ってきました、卒業生

パワーアップ教室
(言葉の訓練)

す。又、西河原に勤務する理学療法士と言語聴覚士の資格をもつ支援員を中心に「パワーアップ教室」と題して月に2回ずつ身体と声の運動にも



トランポリン

▼西河原と橋の内コミキャンでは運動プログラムとして希望者にはボールやトランポリンを活動に取り入れてい

公園の除草作業に励んでいます。手作業で雑草を抜く根気のいる作業ですが明るく楽しく取り組んでいます。水分補給もしっかりと！
(西河原コミキャン・藤本さん談)



須賀神社です。1年程前に保護者さんのお勧めからお掃除に通わせていただくようになりました。落ち葉拾いなど掃除の後はずきり爽やかな気持ちになります！▼西河原・就労継続B型の利用者さんは毎週月曜、駅前



須賀神社で清掃

の活躍を言っていたら全部買ってしまった先生方に感謝です！▼橋の内の皆さんで月に数回、社会貢献としてお掃除に通っている地域(茨木市鮎川)の

→ 室内は自遊空間



▼ここでは、一人ひとりの個性やその人らしさを、それぞれのペースを大切に障がいや心の不安を抱える方々の社会参加・復帰にむけた活動を応援しています。



というより通常は「りあん」と呼んで親しまれています。

地域活動支援センター



▼「りあん」とはフランス語の「Lien」(絆)を意味する。誰かが安心できる場所、心を癒す場所、つながり、愛、希望、称賛、地域活動支援センター

地域活動支援センター

開設7年目「りあん」の活動ご紹介

「だれもが安心して過ごせる、つながりの場所」

← 古民家です



▼また就労や生活などの相談支援も行っており、安心して立ち寄れる「居場所」となっています。



→ ある日の昼食

「春巻きと酢豚」

▼利用対象となる方は、障がいをお持ちの方とそのご家族、社会とのつながりに不安がある方、相談する場所がなくて日々不安を抱えておられる方などです。▼ご利用になるには、事前に面談と登録が必要です。登録された方には200円で昼食の提供もしています。(インスタグラムでもご覧いただけます)



↑ りあん・インスタグラム

▼福祉サービスのご利用が初めての方でもお気軽にお問い合わせください。見学等、連絡頂ければ、お迎えに参ります。【お問い合わせ先】地域活動支援センター「りあん」吹田市内本町1丁目2-17
電話：06-7182-4050
開所時間：月曜～金曜 9時～17時
(地域活動支援センター「りあん」・黒河さん談)

障がい者・高齢者福祉分野における職員研修 “虐待防止について考えるⅡ” セミナー&ディスカッション ～ スタッフ・一般職員への事例研修 ～

日時：2025年6月19日

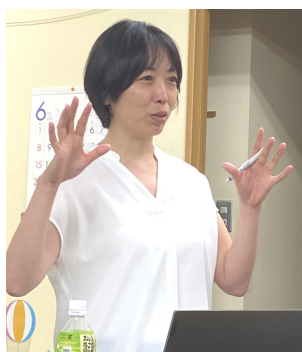
会場：吹田市立内本町コミュニティセンター

参加：一般職員ほか管理職 計26名

研修内容：虐待を発見した者の通報義務と刑事事件等についての講演と勉強会

講師：弁護士 東 奈央 先生（大阪弁護士会・つぐみ法律事務所）

→ 講師の東奈央弁護士



▼令和7年6月19日(木)、大阪弁護士会の「東奈央先生」をお招きして、職員研修を実施。テーマは「障がい者・高齢者福祉分野における虐待防止について考えるⅡ」と題してご講演とグループディスカッション発表の講評をいただきました。また今回の内容は管理職必



また見つけた者の虐待の「判断ポイント」の例や発見者の「通報義務」など全国的な事例をもとに講演が進められました。



須の「身体拘束適正化委員会」「虐待防止委員会」同等の内容で、一般職員にも学びを深めていただいています。
▼虐待には①身体的虐待、②性的虐待、③心理的虐待、④放棄・放任（ネグレクト）、⑤経済的虐待、が障害者虐待防止法に明記されており、何人も障害者に対して虐待をしてはならない」と謳われており、酷いケースの場合は刑事事件になることもあると説明がありました。



▼第一部の講演のあと、テーブルを5グループに分け、法人内の具体的なケース（事前課題）をもとに、それぞれグループディスカッションを進めました。



▼社会福祉法人コミュニティキャンパスでは、利用者の人権や虐待防止の研修・勉強会、関係各種委員会を定期的に開催し、職員の意識教育に努めています。
(コミキャン研修委員会
理事・谷中さん報告)



各班では、現状の報告や提案など、活発な発言の内容を整理し発表につなげていきます。
各班の成果発表を参加者全員が聞いて情報を共有し、「これからの支援活動に大いに参考になる」（ケース発表者談）ヒントが得られたようです。

福祉カフェ・

おもしろ亭“Salon de リト” 試験開店しました

～「お店体験」・「創作物販売」・「地域交流」をめざして～

→名物カップケーキ



▼吹田市立内本町コミュニティセンター近く新旭日町通り商店街の中にある「おもしろ亭「Salon de リト」」は、2025年春から工事に取りかかり、この夏ゆるやかにオープン・試験開店しました。対象とするお客様は、障がいのある方とご家族および広く地域の皆さんで、

イトイン感覚の福祉カフェをオープンしました。

おもしろ亭 **Salon de リト**

大和大学 JR-吹田 新旭日町通り商店街 福祉レストラン ポコポコ亭

おもしろ亭・福祉Cafe リト 吹田市立コミュニティセンター

※JR吹田駅南口から徒歩約10分

◆MENU◆

コーヒー	200円/税別
紅茶	200円/税別
ミックスジュース	200円/税別
手作りケーキ各種	200円/税別

お水、お茶は飲料のご注文にサービス。

エアコン効いてますよ。

手編みニット座布団↓



↑メンバー作 チョコカップケーキ

「メンバーさんの社会体験と地域交流」を目的としています。▼販売内容としては、飲料・手作り焼き菓子・ニット・布製小物雑貨・手芸品創作織物ほか作業所生産品を扱います。



←店内

→メンバーさんのニット手編み風景



▼従来、メンバーさんのリアル店舗での接客体験や、販売体験など機会があまりなく、社会参加に向けた練習が進まないという状況もあり、今回当法人コミュニティセンターパスでの開設となりました。



↑手作り雑貨

▼メンバーさんの「お店体験」「創作物の展示販売」「地域交流」を念頭に、令和7年春から開設に向けて整備を進めていましたが、このたび保健所の許可もおり、ゆるやかに開店する運びとなりました。

【お問い合わせ先】
福祉レストラン・ポコポコ亭内おもしろ亭
電話 06-6317-3901
(おもしろ亭 担当 小西ともへ、ポコポコ亭責任者 小村優太)

▼設置のコンセプトは「みんなで創る手作りのお店」商店街にあるシャッター店舗の有効活用でもあり、ボランティアによる改装工事当初から地域の皆さんには興味を持っていただきたまは、店舗前に置いた特製ベンチには朝早くから地域の方々のご利用があるなど、口コミ人気も上々。

▼このお店は「商店街のイトイン感覚で」ご利用いただけますので、手作りお弁当持参やこの商店街で購入されたお弁当、パン、お惣菜など持ち込んで食べていただけます。ただ、各種飲料一つ(200円)はご注文いただけます。お茶お水はサービスとなっております。お昼休憩にエアコンも効いて快適です。是非ご利用ください。

▼福祉カフェおもしろ亭「Salon de リト」は、体験するメンバーさんの状況に合わせてメニューや販売品目、開店時間など調整を進めていきます。ご利用の皆様にはご不便をおかけすることもあるかと思いますがご理解、ご協力いただきますようお願い申し上げます。



↑パッチワークポーチ

→店頭には特製ベンチ
←200円ドリンク